

ゲノム研究と社会をつなぐELSIを考える

開催
日時

2022年1月31日(月) 13:00-16:00



WEB開催

ゲノム科学の発展には社会との信頼関係の構築が必須です。そのため国内外のゲノム研究プロジェクトでは、社会とのコミュニケーションや倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues: ELSI)への対応に継続して取り組んでいます。文部科学省科学研究費助成金新学術領域研究「先進ゲノム支援(先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム)」においても社会との接点を重視し、「ゲノム科学と社会ユニット」という部署を設置し、2016年度よりゲノム科学に関するELSIをはじめとするさまざまな情報発信を行い、社会とのコミュニケーションの橋渡し役となるべく活動してきました。そこで今回、「ゲノム研究と社会をつなぐELSIを考える」をテーマにヒトゲノム研究倫理を考える会を開催いたします。全国どこからでも参加できるオンライン形式で開催しますので、是非ご参加下さい。



開催
形式

オンラインシンポジウム

- 事前に参加登録を頂いた方に当日参加用URLをお知らせします。
- ブラウザから誰でも参加できるシステム(ユーザ登録不要)を使用します。
- パソコン・スマホで全国どこからでもご参加頂けます。

13:00~13:10 「開会の挨拶」

小原 雄治 (国立遺伝学研究所)

13:10~13:30 「ゲノム科学と社会ユニット(GSユニット)のあゆみ」

加藤 和人 (大阪大学大学院医学系研究科)

13:30~13:50 「ヒトゲノム研究におけるインフォームドコンセントのモデル書式 ～指針改正・R2/R3個人情報法改正への対応」

川嶋 実苗 (JSTバイオサイエンスデータベースセンター)

休憩(10分)

14:00~14:25 「ヒトデータの共有と利活用 - 国際共同研究・企業研究に向けて」

荻島 創一 (東北大学 高等研究機構 未来型医療創成センター/東北メディカル・メガバンク機構)

<質疑応答・総合討論>

14:25~15:00 **第一部** 国内外の動向とゲノム研究のこれからを考える

指定発言(10分)

三成 寿作 (京都大学iPS細胞研究所)

15:00~16:00 **第二部** 座談会: 今後のゲノム研究とELSI(倫理的・法的・社会的課題)を考える

対象

大学・研究機関の倫理審査関係者、研究者など

参加費

無料

参加登録

下記ページのフォームから参加登録をお願いします。

セミナーの詳細
参加登録はこちら



www.genomics-society.jp/news/event/post-20220131.php/ ※ 事前参加登録: 1月26日(水) 12:00まで